

日本を代表する新旧の自主映画を一挙上映！

びあフィルムフェスティバル=PFFは「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに1977年から活動が続けている映画祭です。
1972年の雑誌「びあ」創刊が発端となり生まれたこの映画祭も今年で40回を迎えました。
監督の純粋な「つくりたい!」という思いから始まる自主映画。その魅力が丸ごとわかる1週間を、PFF史上初のシネコン開催にてお届けします。

PFFアワード2018 受賞作品

PFFアワードとは「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに1977年から続く、世界最大の自主映画のコンペティション。今年の応募529本の中から入選した18作品のうち、9月の東京開催での受賞作品をピックアップ。
つくり手が何のしがらみもなく自主的に作る、世界でも珍しく、最も自由な「自主映画」の最新作をまとめて観られる大チャンス到来！驚異の新人を見つけよう！

1.25[金]

🕒 15:30～

『からっぽ』 52分

エンタテインメント賞(ホリプロ賞)



監督: 野村奈央
のむら・なお

取り柄のない平凡な私という存在の耐え難いやるせなさ

いつものアルバイトを首尾よくこなすが、自身の凡庸さを自覚するまちは、我が道をいく画家と出会い、痛感する。私は“からっぽ”と。存在意義を見い出せない人間の苦しみを伝える一方で、それを優しく肯定する現代劇。この冬の劇場公開も話題の注目作。

『川と自転車』 44分

審査員特別賞



監督: 池田昌平
いけだ・しょうへい

大胆な演出が光る3話形式のリバーサイド・ストーリー

河川敷を散策する男女をユーモアたっぷりに描く3話のショート・ストーリー。クロスアップと説明過多な作品が多数占める映画の現状に抗うがごとく、ロングショットの多用とセリフを排した大胆不敵な演出が心憎い。独特のテイストがクセになり、リピーター続出!

『ある日本の絵描き少年』 20分

準グランプリ
ジューストーン賞(日活賞)



監督: 川尻将由
かわじり・まさなお

夢を諦めないすべての人へ！一枚の絵が人生を変える

漫画家になる夢を諦めかけた時、シンジがふと目にした幼なじみのマサルくんの絵。それが彼に勇気を与える!アートの力を信じ続けるクリエイターと、夢を諦めないすべての人への賛歌が込められた感動のアニメーション。今年最も泣けたという声多数の大人気作!

世界を沸かせ続ける自主映画①

PFFでのお披露目上映から現在に至るまで、近年稀にみる人気を誇る作品をご覧ください。

1.25[金]

🕒 18:00～

『あみこ』 66分

PFFアワード2017 観客賞



監督: 山中瑤子
やまなか・ようこ

女子高生あみこは、アオミ君に対して崇拜に近い特別な感情を抱く。しかし、ある日彼は家を出る。時に斜に構え、時に自虐的な、あみこの脳内一人漫才が鮮やかに炸裂する! 史上最年少監督記録を更新したベルリン国際映画祭招待に始まり、ファンタジア国際映画祭で審査員スペシャルメンションを授与されるなど、世界中に熱烈なファンを増やし続けている。 英語字幕付上映

1.26[土]

🕒 15:30～

『一文字拳 序章 -最強カンフー少年対地獄の殺人空手使い-』 66分 観客賞



監督: 中元 雄
なかもと・ゆう

火傷も生傷も上等! 体を張った本気アクションを見よ

最強の武術家を目指す一文字コウタが見参。無敵の改造人間に挑む! アクション×スプラッター×80年代青春ドラマが融合。最後はお約束、NGテイクのおまけつきのマジでガチなアクション・エンターテインメントがここに。監督のカンフー愛にほだされ熱くなる。好かって素晴らしい!

『すばらしき世界』 41分

審査員特別賞
映画ファン賞(びあニスト賞)



監督: 石井達也
いしい・たつや

大人の事情に翻弄され続けた16歳少年の叫び届け!

16歳の優は母と二人暮らし。しかし、そこに再婚を決めた父が強引に介入し、彼の心は再び深い闇に覆われる。大人の勝手な都合に翻弄される子どもの傷心と怒り。それは監督が実体験した苦しみと悲しみの告白でもある。若干20歳の監督が自身のすべてを注ぎ込んだ決意の一作。

8ミリ・マッドネス!! ～自主映画パンク時代～ セレクション

※1988年以前は「一般公募部門」入選上映で、コンペティションは行っていません

1970年代から90年代の日本映画史に刻まれる8mmフィルムによる映画制作の熱狂の歴史に感動した香港・ベルリン両映画祭とPFFが共同で世界巡回を実現した企画「8ミリ・マッドネス!!」。今回はそのラインナップから7作品をセレクト。現在活躍する監督たちの原点とも言える8mm映画が鮮やかに蘇る!

1.26[土]

🕒 18:00～

『東京白菜関K者』 59分

1981年 PFF入選



監督: 緒方 明
おがた・あきら

ある朝起きたら白菜に変身していた男、K。街へ出た彼はさまざまな事件に巻き込まれ、追い回される。カフカを下敷きにしながらも、心理描写や文学性とは無縁にひたすら街を疾走するKをとらえ、新感覚アクション映画が生まれた。当時石井聰互監督の助監督として活躍した緒方監督のもとに集結する映画人の多彩さにも注目!世界巡回でも絶大な人気を誇った。 英語字幕付上映

『俺は園子温だ!!』 37分

1986年 PFF入選



監督: 園 子温
その・しおん

自分の誕生日までの3週間、暗い室内でカメラに向かって呟きを繰り返す自撮りシーンから、一転、カメラは突然走り出し、22歳の園子温は奇声を発し、自分の髪を剃る。映画という媒体を利用して、自身の存在証明を過激に追求する一方、映画の存在そのものにも鋭く迫る。既存の映画のルールを壊し続けてきた園監督の創作エネルギーがここに凝縮。 英語字幕付上映

第41回 びあフィルムフェスティバル コンペティション部門 PFFアワード2019 作品募集スタート!

公募期間: 2.20[水]～3.21[木・祝]まで



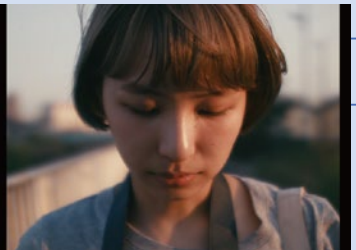
応募しなっちゃ始まらない!!

1.27[日]

🕒 15:30～

『19歳』 28分

審査員特別賞



監督: 道本咲希
みちもと・さき

自分語りと自己分析から浮かびあがる19歳女子の肖像

20歳を前に大人になる自信が持てない咲希が、自らの不安な心情をカメラの前で包み隠さず吐露。フィクションとノンフィクションの狭間を往來するよう自分語りと客観的な自己分析で、19歳女子のリアルな肖像を写す。今年度共感度ナンバーワン作品。

『オーファズ・ブルース』 89分

グランプリ
ひかりTV賞



監督: 工藤梨穂
くどう・りほ

思い出を忘却する前に少女は大切な友の姿を追ひ求める

記憶が欠落する病を抱えるエマは行方不明の幼なじみのヤンを友人らと探しに。その存在と大事な思い出が消える前に彼女の再会の願いは叶うのか?失われゆく記憶に嘆き苦しむ少女の切なる叫びが聴こえるロードムービー。撮影当時学生だった監督たちの映画への本気度に驚く!

1.27[日]

🕒 18:00～

『1/880000の孤独』 43分/1978年



監督: 石井岳龍(聰互) いしい・がくりゅう

東京の片隅で孤独な毎日を送る、芽えない浪人生。勉強には集中できず、疎外感と劣等感と性欲にまみれた日々のなか、その鬱屈が、突如、なんの前触れもなく爆発する。衝撃の結末で観る者を凍らせた問題作。70～80年代自主映画界の革命児であり、『パンク侍、斬られて候』(18年)が大絶賛されたことも記憶に新しい石井監督の原点の1作。 英語字幕付上映

『電柱小僧の冒険』 45分

PFFアワード1988 グランプリ



監督: 塚本晋也
つかもと・しんや

背中に生えた電柱のせいで、いじめられてきた学生が、ひょんなことから25年後にタイムスリップ、人類を支配しようとする鉄の吸血鬼軍団と戦うことに。アニメーションの手法を駆使したスピーディーな演出が胆度抜く。翌年、伝説のカルト映画『鉄男』で世界にその名を知らしめた監督の驚愕のインディペンデント精神はすでにここから始まっていた。 英語字幕付上映

1.28[月]

🕒 18:00～

『UNK』 15分

1979年 PFF入選



監督: 手塚 眞
てづか・まこと

空飛ぶ円盤にさらわれた少女が宇宙人の都市へと連れられていく。『未知との遭遇』へのオマージュとして、前年の第1作『FANTASTIC★PARTY』が大島 渚監督から絶賛された手塚監督が高校2年生のときに手掛けた第2作。出演以外のすべてを監督ひとりでごなし、実験的手法と特殊撮影がテンポよく融合、8mmの可能性にチャレンジした意欲作。 英語字幕付上映

『HIGH-SCHOOL-TERROR』 6分

1981年 PFF入選



監督: 手塚 眞
てづか・まこと

放課後の教室に残る2人の女子高生。やがて夜になり、ひとりがホラー映画そのもののいたずらを仕掛けると…。手塚監督が高校卒業目前に短期間で撮ったホラー映画の習作は、撮影技法や演出力においても優れ、すこぶる怖い8mm作品として全国で自主上映された。1990年代後半に映画やドラマで人気を集めた『学校の怪談』の先駆けとも言える作品。 英語字幕付上映

『雨女』 72分

PFFアワード1990 グランプリ



監督: 矢口史靖
やぐち・しのぶ

降りしきる雨のなか、貧乏暮らしの女2人はスーパーマーケットを襲い、キャベツ畑を荒らし、牛をも殺す。ドキュメンタリー、B級ホラー、前衛映画と、ジャンルを混在させ、他者に構わず暴走する2人とともに映画は驚異の疾走をみせる。大学時代の2年半をかけて本作を完成させた矢口監督は、その後日本を代表するエンターテインメント映画監督となった。 英語字幕付上映

世界を沸かせ続ける自主映画②

世界中の観客を魅了してやまない、これからの活躍が楽しみな監督たちのデビューをいち早くチェックしよう!

1.29[火]

🕒 18:00～

『わたしたちの家』 80分

PFFアワード2017 グランプリ



監督: 清原 惟
きよはら・ゆい

この家には二つの世界がある。母と娘の暮らし、そして女二人の暮らし。それぞれの世界が交錯し、徐々に混乱が生まれてゆく。それらが繋がったとき、一体何が起るのだろうか。述べ12か国もの海外映画祭に招待され、中国最大の上海国際映画祭にて最優秀監督賞を受賞するなど、世界中から驚嘆の声が上がっている。日本でもロングラン大ヒットを記録した。 英語字幕付上映

1.30[水], 31[木]の上映プログラムは裏面に掲載されています👉

映画配給会社ガガが運営する、動画配信サイト「青山シアター」にて、これまでのPFFアワード入選作品を多数配信中!

aoyama-theater.jp/feature/pff

青山シアター

検索

青山シアター
Powered by GAGA